



ワシントン日本語学校事務局

HOT LINE (301)962-7415

Phone (301)962-7410

FAX (301)962-7411



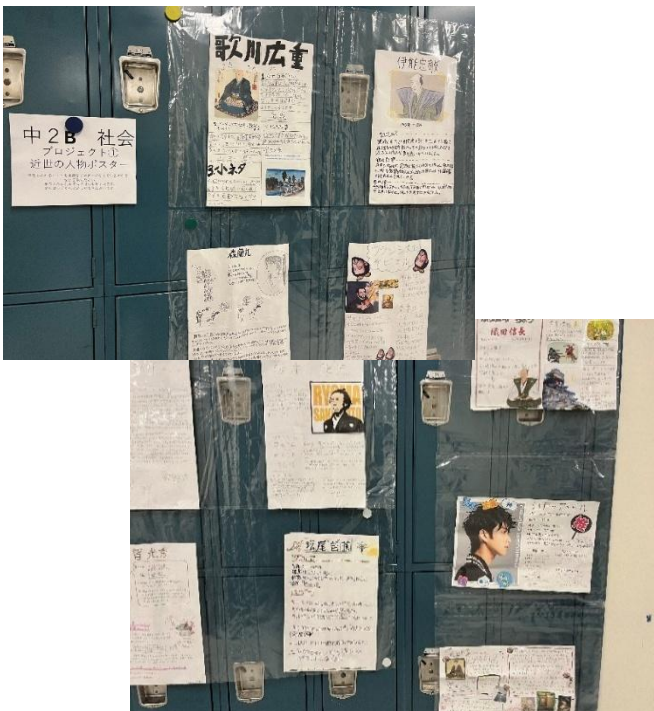
はなみずき

mail:wjls@wjls.org http://www.wjls.org/

学びの軌跡、輝く成果

校長 東間 義孝

先週、職員室前に人だかりができていました。その視線の先には、子供たちが作り上げたポスターがずらりと並んでいました。中学2年生が、社会科の歴史学習の一環として、近世の人々について深く掘り下げ、選んだ人物の生涯や功績をまとめ上げた見事な出来栄のポスターでした。



また、小学4年生の教室では、社会科の「都道府県アンバサダーになろう」プロジェクトを進めていました。自分が紹介したい都道府県の地形、特産品、自然、観光スポットなどを調べ、工夫を凝らしながらその魅力をカルタや袋づくりで表現していました。

どちらの学びも、子供たちが自ら問いを立て、情報を収集し、考え、そして表現するという、一連の過程を経て生まれた成果です。知識を得るだけでなく、「どうすれば相手に伝わるか」「どう表現すればもっと魅力的に見えるか」と試行錯誤する中で、子供たちの思考力や創造力は大きく育まれていきます。この過程こそが、学びの醍醐味であり、子供たちの大きな成長の証だと感じています。

完成した作品には、調べたり、まとめたり、直したり、時には行き詰まったりしながらも、決して諦めずに取り組んだ努力と個々の創意工夫が存在しているのです。



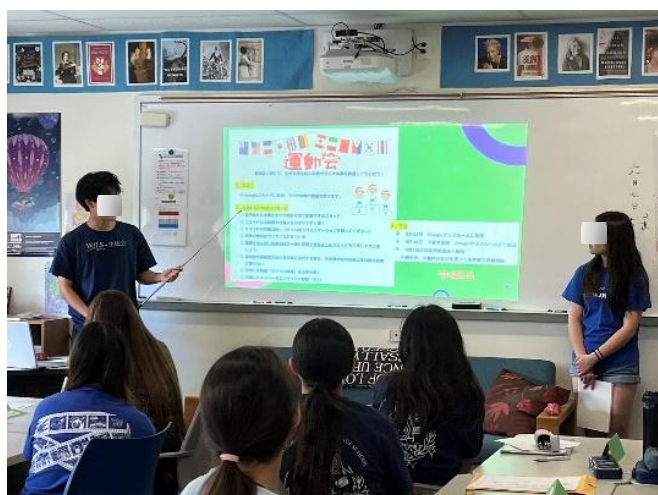
私たちは、これからもこうした主体的な学びの機会を大切に、子供たち一人ひとりの知的好奇心を丁寧に育み、支えていきたいと考えています。知識をアウトプットし、日本語で人に伝え合う経験を通じて、思考力、表現力、そして日本への興味関心がより深まっていくことでしょう。

生徒会がリードし、 笑顔あふれる学校行事に

先週第3回生徒会会議が開かれ、全校青空ピクニックの確認や運動会に向けての取組といった、在校生が心待ちにしている行事の準備を精力的に進めてくれていました。

これらの行事は、単なる楽しいイベントというだけではありません。生徒一人ひとりが主体的に関わり、仲間と協力し、一つの目標に向かって努力する中で、企画力、実行力、そしてリーダーシップといった、かけがえない力を育む貴重な機会でもあります。

生徒会のがんばりが、聖心SR校に集う在校生全員の笑顔と、忘れられない素晴らしい思い出につながることを確信しています。ぜひ生徒会の活動に温かい声援を送り、行事への参加を心待ちにしていってくださいね。



ご来校ありがとうございました

本日で希望された方を中心とした個人面談が全て終了いたします。面談では、お子さまの成長や日々の学習について、保護者の皆さんと担任の先生がじっくりと話し合う貴重な時間となりました。

お忙しい中ご来校いただき、誠にありがとうございました。

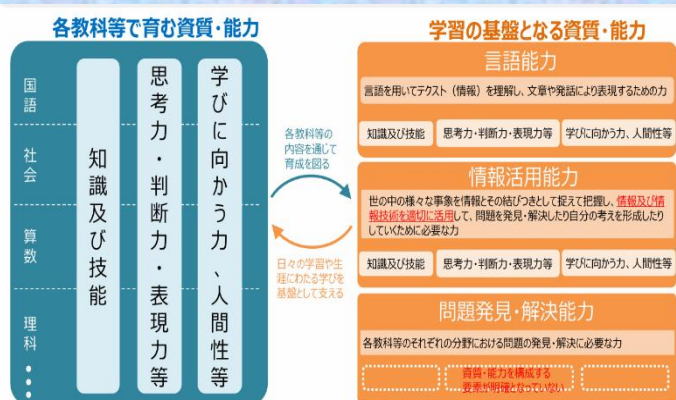


日本の教育は今 Vol.3

現行学習指導要領で大切にしていることとこれから

Vol.2で、学習指導要領で大切にしている『育成を目指す「資質・能力」の3つの柱(知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等)』について話題にしました。

両輪のもう一方と言われているのが、「**学習の基盤となる資質・能力**」です。「**言語能力**」「**情報活用能力**」「**問題発見・解決能力**」の3つを、各教科等の日々の学習や生涯にわたる学びを基盤として大切に育まなければならないものとされています。



令和7年5月22日教育課程企画特別部会資料から

また、日本ではGIGAスクール構想による一人1台端末やクラウド環境等のデジタル学習基盤の効果的な活用を急ぎ進めていることもご存じかと思います。一時帰国で体験入学をされた方は、その一端を実感されたのではないのでしょうか。

これらを踏まえながら、資質・能力の育成の視点を大切にした学校教育が日本で行われていますが、一方、様々な課題も浮き彫りになってきています。

そこで、現行学習指導要領に基づく教育実践と並行して、次期学習指導要領の改訂議論が現在始まっています。デジタル技術の発展に伴う、小中高等学校を通じた情報活用能力の向上や、探究的な学びの充実、外国語教育の在り方なども話題になってきました。学習指導要領は、子供たちが未来を生き抜くために必要な資質・能力を育む上で非常に重要なものです。今後の議論から目が離せません。